

●新刊のご案内

# 鷗外文学の生成と変容

## ——心理学的近代の脱構築

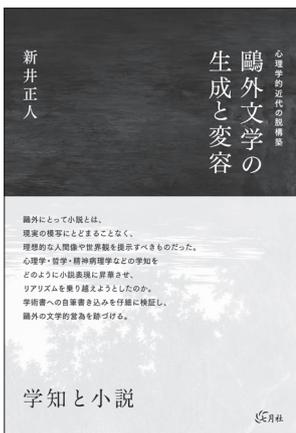
新井正人 [早稲田中学校・高等学校教諭／日本近代文学] =著

◎ A5 判上製／320 頁／本体 5400 円／ISBN978-4-909544-09-4 C1095

[6月下旬刊]

### 学知はどのようにして小説になるのか？

明治期において小説とは、「心」（内面心理）を捉えることで人間存在を描き出す、リアリズムに根ざした特権的な文芸ジャンルだった。しかし、森鷗外にとって小説とは、現実の模写ではなく、理想的な人間像や世界観を提示すべきものだった。当時最新の心理学・哲学・精神病理学などの学知を受容していた鷗外は、それをどのように小説表現に昇華させ、リアリズムを乗り越えようとしたのか。学術書への自筆書き込みを仔細に検証し、鷗外の文学的営為を跡づける。



#### ●主要目次

- 序章 「小説を作るべき方便」としての「心理的観察」
- 第一章 小説表現の学的構築 —鷗外と心理主義—
- 第二章 Seele をめぐる論理 —心身問題と鷗外—
- 第三章 構成的外部への理路 —鷗外と識閥下—
- 第四章 「混沌」のもつ力 —鷗外と教育思想—
- 第五章 “Vita sexualis” という言説装置 —鷗外におけるクラフト＝エビング受容—
- 第六章 表象心理学と物語行為 —鷗外文学の構築方略—

- 資料① G・A・リントナー『経験的心理学教本』受容の様相
- 資料② O・キュルペ『哲学入門』・『心理学概論』受容の様相

#### ●版元より、書店の皆様へ

森鷗外は日本で最初期の公衆衛生学者の一人で、軍医としては軍内における腸チフスの予防接種を主導しました。鷗外は公衆衛生的な「知」によって日本人が近代的・自律的な主体を獲得できるかを考えましたが、それは新型コロナウィルスの非常事態下にいる現在の私達とも無関係ではないように思います。遠回りな方法ですが、本書がそれを考える一助になれば。



株式会社 七月社

☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話／FAX：042-455-1385

帳合・番線 注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385
	新井正人=著 <b>鷗外文学の生成と変容</b> 心理学的近代の脱構築 A5 判上製／320 頁／本体 5400 円／ISBN978-4-909544-09-4 C1095

ご注文は JRC へ／ FAX 03-3294-2177

\* 返品条件付き注文扱い  
\* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です